

広報

ただみ

6
2024 月号

No. 649
令和6年6月10日



今月の表紙

【町内小学校運動会】

少し夏の暑さを感じるようになった5月中旬に、町内3小学校で、運動会が開催されました。

子どもたちは、お互いを鼓舞し、たたえ合いながら、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、最後まで全力を尽くしました。

《特集》

只見ユネスコエコパーク登録10周年記念

その成果と課題…………… 2～5

オーラルフレイルを予防しましょう

…………… 6～7

《News&flash》

…………… 8

《町の話》

…………… 9～12



只見ユネスコエコパーク登録10周年記念

その成果と課題

平成26年6月12日に登録となった只見ユネスコエコパークは、今年登録10周年を迎えます。只見ユネスコエコパークが目指しているのは、只見地域の豊かな自然環境と野生生物を守り、生かしながら、そこで育まれた伝統的な生活文化を維持・継承する、持続可能な地域社会の発展です。

登録から10年が経ち、只見ユネスコエコパークでは、過疎高齢化が進むなか、地域課題に向き合い、それら課題の解決と自然と人が共生する地域の実現に向けて活動してきました。人であればまだ10歳です。できるようになったこともあれば、まだまだできていないこともたくさんあります。

本特集では、誕生から10年を祝いつつ、「ユネスコエコパークとはなんだろうか」から始まり、「只見ユネスコエコパークの特徴」「この10年の変化・活動と成果」「今後の課題」「次の10年に向けて」についてお伝えします。

ユネスコエコパークってなんだろう？

ユネスコエコパークとはスイスに本部がある国際機関ユネスコが認定した「自然と人間が仲良く暮らしている世界のモデル地域」（自然と人間が共生する世界のモデル地域）のことです。

どうしてそのようなモデル地域が必要なのでしょう？

私たち人間は自然や野生生物を利用しながら生きていますので、無理のない範囲で自然を守り、活かしながら、自然とともに人が暮らしていけるモデル地域が必要なのです。ユネスコエコパークは地域の課題に向き合いながら、そんな地域の実現を目指しています。



只見ユネスコエコパークの 自然と暮らし



只見ユネスコエコパーク登録地域の豊かで貴重な自然環境や野生生物、それらをより所とする住民の暮らしが、国際機関ユネスコに認められています。

豪 雪

豪雪が作用して、つくり出される

雪を克服し、活かす暮らし

自然環境・野生生物

豪雪が育む自然

—「雪食地形」と「モザイク植生」—

只見の山々は、主に比較的もろい凝灰岩（ぎょうかいがん）でできているため、豪雪による雪崩によって山の斜面は常にけずられます。そこにはほとんど木が生えない「雪食地形」がつかわれ、残った細い尾根の上には列状に「キタゴヨウ」が、緩い山腹や削られた土砂がたまった斜面の下には「広葉樹自然林」と「人工林」が育っています。このような複雑な地形に多様な植生がモザイク状に広がっています。標高1,000m以下でのこうした景観は極めて珍しく、自然度の高い状態で残されています。



▲雪食地形とモザイク植生



▲代表的植生のブナ林

豊かな生態系を象徴する動植物

変化に富む植生は、多様な野生生物の生育・生息を可能にします。豊かな生態系を象徴する大型猛禽類のイヌワシ、クマタカ、大型哺乳類のツキノワグマが生息するとともに、多雪地帯に生育する希少種ヒメサユリ、新種として発見されたタダミハコネサンショウウオなどが見られます。



▲ヒメサユリ



▲ツキノワグマ



▲タダミハコネ
サンショウウオ

人の暮らし

只見の自然をより所とした生活文化

只見地域に人が本格的に住み始めたのは縄文期と考えられています。現在でも縄文文化（狩猟、採集、漁撈）を底流として集落背後の山から生活に必要なものを手に入れる生活文化があります。豊かな自然環境は現在でも良質な農産物の生産を支えています。



▲寒冷な気候で保存
(ダイコンニュー)



▲乾燥ゼンマイづくり



▲伝統芸能(小林早乙女踊り)



▲山菜・農産物などの
田舎料理



▲植物を使った編み組細工



▲様々な蜜源植物を利用した
養蜂



▲豊かな自然が生み出す
美味しい米



▲薪材利用
(低炭素社会の実現)

くらしに必要なものを提供

持続可能な利活用

10年の主な変化・活動と成果

豊かな自然や伝統的な文化を守り、地域資源を持続可能な形で活用する中で地域社会の維持・発展を図るため、ユネスコエコパークの3つの目標に沿った形で活動を進めてきました。



▲ユネスコエコパークの3つの目標

自然環境の保護・保全

行動

成果

「只見町の野生動植物を保護する条例」の制定と運用
貴重な野生生物の不法な盗採、捕獲件数の減少。保護・保全の機運向上。



▲「只見町の野生動植物を保護する条例」を周知する横断幕

行動

成果

「越後三山・只見国定公園」「森林生態系保護地域」の拡張
自然環境・生物多様性の保護・保全機能の強化

学術調査研究・人材育成

行動

成果

『自然首都・只見』学術調査研究助成金制度
67件の研究者等へ助成（2012～2024）。
成果発表会、論文発表による町への還元。



▲只見町の自然を活かした環境教育、ESD(持続可能な開発のための教育)の推進

行動

成果

ユネスコスクールへの加盟
町内小中学校のユネスコスクール加盟。只見学、ESDの推進。



▲只見町の新たな科学的価値を解明する研究者らの調査

行動

成果

文化施設の整備

行動

成果

「只見町公認自然ガイド」の育成と認定
10人のガイド認定（2024年度時点）。研修によるスキル向上。



▲自然環境を活かした観光を推進する担い手となるガイドの育成

行動

成果

「自然環境、社会文化基礎調査」の実施

只見町の自然や文化の新しい価値（新種の発見、古民家の特徴など）が明らかに、地域資源を守り、生かすための基礎資料が蓄積

行動

成果

地域資源を持続可能な形で活用した地域振興

「自然首都・只見」伝承産品ブランド化事業
36品目の認定。新たな産品の開発。伝統文化の復活。伝承産品を通じた町の自然・文化の魅力発信



▲自然や文化を活かし、町民が作る地域ブランド「自然首都・只見」伝承産品



▲只見の自然や文化を身近に触れることができる「ただみ観察の森」を整備する町民

成果

行動

9箇所の観察の森の指定。エコツアー、学校教育、研修等での活用。

「ただみ観察の森」の指定と整備

成果

行動

薪ステーションの新設。(今後、森林整備の進め方を検討)

森林育成のための薪エネルギー活用事業

成果

行動

「ブナ林ブレンド開発事業(ブナ林樹木の枝葉の活用)」
ブナ林樹木の枝葉の活用した商品(お茶、クッキーなど)の開発

交流等

成果

行動

全国ブナ林フォーラム(2018年)の開催
「自然首都・只見」2018年宣言等、ブナ林地域との交流



▲ブナ林の保護・保全、持続可能な利用を再確認した「自然首都・只見」2018年宣言

今後の課題

- ・只見ユネスコエコパークの豊かな自然環境や山間地域の生活や文化に親しみ、体験するエコツーリズム・グリーンツーリズムの推進
- ・JR只見線の魅力化を図り、地域観光の柱とする
- ・只見ユネスコエコパークの自然や生活文化を活かした学校教育、社会教育、文化活動の推進
- ・森林育成で生じる間伐材を燃料材と利活用し、低炭素社会、町内経済循環を生み出す中での、持続可能な林業の実現
- ・自然環境・野生生物に配慮した道路や河川改修などの社会インフラ整備
- ・大規模開発事業(国道289号八十里越の工事・開通、滝調整池堆砂浚渫土砂処理など)における自然環境・野生生物の保護・保全のため対策



▲ブナ林の中を走る全国でも数少ない路線の一つであるJR只見線

次の10年に向けて

はるか昔から続いてきた只見の自然や生活文化を守りながら、自然と人との共生を実現し、豊かで持続可能な地域社会を目指すという目標達成には、まだ道半ばです。次の10年に向けて、自然首都・只見に暮らす私たちは、都市では得られない自然環境と充実感のある生活文化を目標に、只見ユネスコエコパークを活かして、多様な課題に取り組んでいければと思います。



▲国道289号は地域活性化が期待される一方、自然や伝統的な文化への配慮も求められる

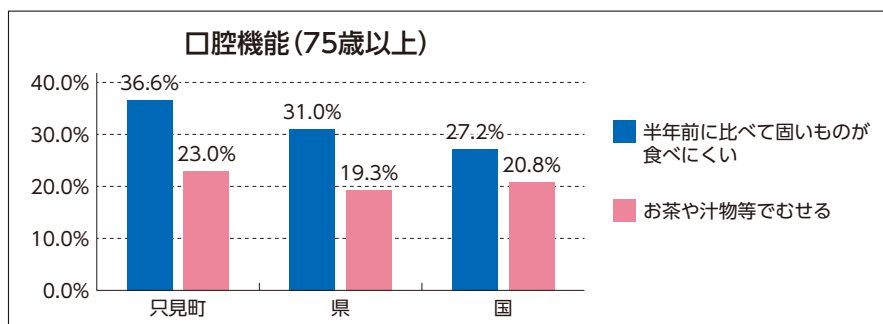
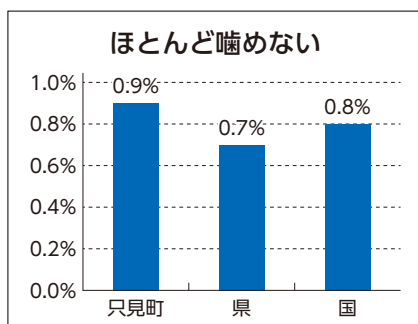
ただみ・ブナと川のミュージアムでは、企画展「誕生から10年。只見ユネスコエコパークのここまできを振り返り、これからを考える」を開催中です(9月1日まで)。ここで紹介しきれなかった取組や成果の紹介やユネスコエコパークはまだよく分からない、という方にもわかりやすく解説しています。課題を皆さんと考え、意見をいただくコーナーも設けられ、ユネスコエコパークで豊かな只見町を作っていくことを考える機会としてはいかがでしょうか。

世界では、2030年までにネイチャーポジティブ(生物多様性の損失を止め、自然を回復軌道に乗せること)を実現することが国際目標となつていきます。日本もこの目標を達成することを国家戦略に組み込んでいます。そうした流れを受け、只見町も「ネイチャーポジティブ宣言」を行い、ユネスコエコパークの更なる推進を目指していきたいと考えています。ネイチャーポジティブの詳しくは、次号から改めて紹介します。

健康づくりは口腔から オーラルフレイルを予防しましょう!

只見町の40～74歳までの方の咀嚼の状態は、「ほとんど噛めない」人が0.9%、75歳以上では、「半年前に比べて固いものが食べにくい」人が36.0%、「お茶や汁物でむせる」人は23.0%で、県や国よりも高い割合になっています。

食事を食べることは健康づくりの基本です。歯と口は私たちが健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があります。



オーラルフレイルとは

「オーラルフレイル」とは、口腔の(オーラル)虚弱(フレイル)、すなわち口腔機能の衰えを表す言葉で、口まわりの筋力が衰えることにより、滑舌や食の機能が低下する状態をいいます。オーラルフレイルは身体的な衰えだけではなく、精神的・社会的な虚弱にもつながるといわれています。例えば、歯の喪失により噛めない食品が増えることで、食への欲求・関心が減少し、それまで楽しみだった家族や友人との外食が億劫になり(心身機能の低下)、自分一人で自宅でばかり食事をする(社会性の低下)ようになってしまいます。このような心身機能、社会性の低下は、さらにオーラルフレイルを進行させ、閉じこもりによる運動機能障害や、うつ状態など要介護状態につながる恐れがあります。

オーラルフレイルの原因は、おもに加齢による筋力低下と、歯の喪失です。ものを食べるには、咀嚼力(噛む力)と、嚥下力(飲み込む力)が必要ですが、加齢によって口まわりの筋力が低下し、歯の本数が減少すると、オーラルフレイルに陥ります。

オーラルフレイルの原因

- 加齢による筋力低下
- 歯の喪失

オーラルフレイルのチェック

5項目のうち、2項目以上に該当する場合には、オーラルフレイルに該当します。

オーラルフレイルに該当した場合には、かかりつけ歯科医やかかりつけ医に相談しましょう。

質 問	選 択 肢	
	該 当	非該当
自身の歯は、何本ありますか？(さし歯や金属をかぶせた歯は、自分の歯として数えます。インプラントは、自分の歯として数えません。)	0～19本	20本以上
半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか？	は い	いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか？	は い	いいえ
口の渇きが気になりますか？	は い	いいえ
普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか？	は い	いいえ

予防のためのセルフケア

①口の中を清潔に保つ

口腔内の清潔が保たれないと、虫歯や歯周病のリスクが発生し、進行すると大切な歯を失うことになり、「食べる」「話す」といったことが難しくなります。虫歯や歯周病を予防するには、歯ブラシ、フロス、歯間ブラシ、マウスウォッシュ、液体ハミガキなどを使用して適切な口腔ケアをしてください。また、かかりつけの歯科で、歯石除去などの定期的な清掃と検診を受けるようにしましょう。

②口腔機能の維持・改善

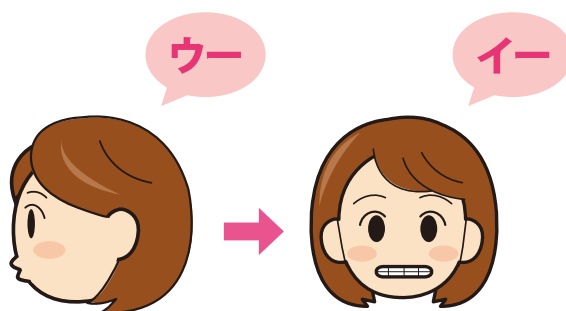
口腔機能とは、「噛む」「のみ込む」などの生命に関わる機能と「発声する」「笑う」といった日常の生活に欠かせない機能です。唇や舌、喉や口周辺の多くの筋肉の働きを衰えさせない必要があります。次の項で紹介するトレーニングを行って、口腔機能が衰えないように維持しましょう。

自分でできるトレーニング方法

口や舌の動きをスムーズにするトレーニングを行うことで、唇やほお、舌の筋力をアップすると口腔機能が高まり、唾液がよく出るようになり、食べ物をのみ込みやすくなります。

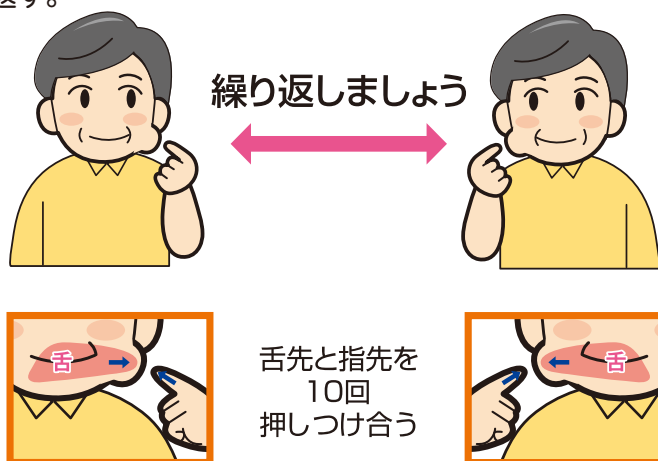
口の体操

- ①「う」の口で唇をすぼめる。
- ②「い」の口で唇を横に開く。



舌の体操

- ①舌を左のほおの内側に強く押しつける。
- ②指で、押し出された舌の先を、ほおの上から押さえる。
- ③指に抵抗するように、ゆっくり10回舌を押し返す。
- ④右のほおでも同じこと繰り返す。



パタカラ体操

- ①「パパパパパパパパ」
…唇をはじくように
- ②「タタタタタタタ」
…舌先を上の前歯の裏につけるように
- ③「カカカカカカカカ」
…舌の奥を上顎(あご)の奥につけるように
- ④「ラララララララ」
…舌をまるめるように

※①～④を2セット行う。

2024年度歯・口の健康啓発標語

「歯を見せて笑える笑顔未来にも」

将来の健康のために予防に努めましょう。

只見ユネスコエコパークを推進する
ブナセンターの在り方を協議

「只見町ブナセンター 運営委員会」

「只見町ブナセンター運営委員会」が4月26日にただみ・ブナと川のミュージアムで開催されました。

当日は10人の委員が集まり、ブナセンターの活動である自然保護・保全、地域振興、調査研究・人材育成、施設の管理運営についての活動報告が行われました。

運営委員会ではユネスコエコパークにふさわしい自然保護の在り方や、町民の方にも利用しやすい施設運営等についても協議が行われました。



▲活動報告と今年度の計画について説明を受ける委員

第7回「子ども子育て会議」

菊池信太郎による講話に学ぶ

子どもや子育てに係る施策に関する事項について審議等を行う「子ども子育て会議」が、5月24日に只見公民館で開催されました。

会議では、只見町認定こども園に関する専門委員会での経過報告及び今年度策定予定の子ども子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査の結果について共有しました。

また、会議の委員を務める菊池医院（郡山市）の菊池信太郎先生が「只見町が子育てで日本一になるまちづくり」のテーマで計画策定の参考となる講話を行いました。

菊池先生は「人が減ることを憂うよりも一人一人を手厚く育むことが必要です」と話しました。



▲「子どもがいいきと成長できる町となれば、保護者もずっと住み続けたい町につながります」と話されました。

交流30周年を迎える柏市との交流

「ふるさと交流企画会議」開催

「令和6年度ふるさと交流企画会議」が5月24日に開かれ、ふるさと交流都市の千葉県柏市と只見町の今年度交流事業について確認や調整が行われました。

特に本年11月には、柏市とのふるさと交流都市提携30周年を迎えることから、両市町において記念事業の確認が行われました。

只見町では柏駅前大型モニターにて、町の紹介動画を放映し町の魅力を発信する事業など、柏市では市民がJR只見線に乗りし只見町を訪れる只見線貸切ツアー事業などを予定しています。



▲柏駅前大型ビジョンで放映予定の町の紹介動画を柏市役所市民活動支援課の皆さんと確認しました

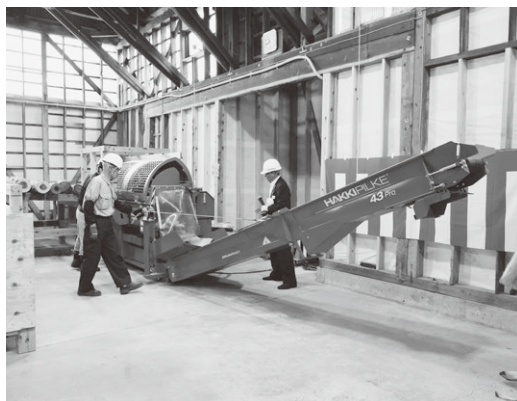
地産地消の再生可能エネルギー

「只見町薪ステーション開所式」開催

只見町薪ステーションの開所式が5月30日に杉沢地内の只見町薪ステーション（旧杉沢林産）で行われました。

町内の森林資源を活かした林業と地域振興への取組として、森林整備の過程で得られた間伐材等を薪に加工し、再生可能エネルギーとして町内での活用を目指します。

薪ステーションは、只見町森林組合が運営を行い、一般家庭の薪ストーブ用に広葉樹薪を生産する他、本年度、季の郷湯らに導入を計画している薪ボイラー用燃料としてスギを薪に加工し利用します。



▲一般家庭への薪の販売も行っております。お問合せは森林組合（82-3120）までご連絡ください。

商工会青年部・田代さん

「商工会青年部主張発表会 会津地区大会」出場

「商工会青年部主張発表会会津地区大会」が4月26日にルネッサンス中の島で開かれ、只見町商工会青年部から田代尚大さんが、代表として出場しました。会津地区大会には、只見町商工会青年部の他に、湯川村商工会青年部、猪苗代町商工会青年部も参加し、それぞれが熱い思いを発表しました。

田代さんは「幽霊部員が表舞台に立つ ～地元で熱気を広げたい～」をテーマに主張を行いました。今号では、田代さんの主張をご紹介します。

「幽霊部員が表舞台に立つ ～地元で熱気を広げたい～」

私の只見町商工会青年部との関わりは今から10年前。Uターンで只見へ戻り、実家が民宿経営をしていたことで名前だけ登録する形で加入したのがきっかけでした。しかし、地元の会社に就職していたので、青年部の活動は直接関係がなく、自然と幽霊部員になっていました。

加入から7年も経過した3年前。Uターン後の生活もなじみ、妻と子供たちと気ままに過ごしているところへ当時の青年部長がニコニコしながら近づいてきて言いました。「暇だべ？ちょっと手伝いにこーや!!」。これを機に、名前だけの幽霊部員がため息をこぼしながら町へと繰り出します。

青年部の主な活動の一つは、雪まつりなどの町のイベントに参加し地域振興を盛り上げていくことです。近年では10年以上ぶりに開通した只見線関連のイベントや音楽フェスなどへの出店があり、部員が協力しながら取り組んでいました。

私も活動に参加するようになり、友人知人と顔を合わせ談笑したり、鉄道ファンや外国の方とも交流しながら有意義な時間を過ごす中、周りを見渡すと、おばあさんが押し車で歩く周りを飛び跳ねている孫達、昼間から景気よく飲むおじさん達、20年前の面影が消えた同級生、程よい混み具合と賑やかさで色めき立つ只見町。久しく町のイベントに顔を出していなかったこの風景を忘れていました。

イベントが終われば、町に人がいないような錯覚を起こしてしまう程に静かな田舎町に戻りますが、イベントで楽しげに行きかう観光客や地元民の姿を眺めている機会が増えてくると「人がいない田舎町」という感覚が薄れていきました。

ため息をこぼしながら参加していた私がいつしか青年部の活動に進んで参加するようになりました。しかし、地域振興という意識はまったくなく、ただ賑やかな催し物に参加しているという感覚でした。

そんな、やや浮ついている私に転機が訪れます。それは今年の「只見ふるさと雪まつり」でした。

青年部はイワナの唐揚げと射的の出店で参加しました。準備は、想像よりもやる事が多く大変でしたが、出店準備を進めていく中で、青年部全体に「絶対成功させよう」という熱気を感じ、「私も少しでも貢献できたら、いや、ここで貢献しなくては男が廃る」と思い、出来る事はしっかりとやりきりました。

私は射的ブースを担当しました。当日は、射的に来た子供たちと一緒に、私自身も楽しんでいました。その中で、観光客の親子が来られ、こんな会話をしました。

「雪像がすごいですね。何度も只見線のニュースを見ている内に行きたくなくて、初めて只見の雪まつりに来ました。」「足を運んでもらってありがとうございます。でも今年は暖冬で雪像のサイズが小さくなっちゃいました。」「そうなんですか？間近で見ると迫力があってビックリしました。来年も来ます。」「是非お待ちしております。」「はい、また子供と一緒に遊びに来ます」

恐らく、どこのブースでもあるようなちょっとした会話でしたが、この親子が帰る後ろ姿をみて、今ここに立っていなければあの親子とも出会っていないし、交流もない。たいした魅力があるとも思っていなかった地元で感動してもらい、なんだか感謝されたような気分になったことを感じました。

少し宙を仰いで、下に目をやると、子供たちが笑顔で一喜一憂しながら楽しんでいる。「頑張ってる準備してきてよかった。」「出店に参加できてよかった」と達成感が胸にこみ上げてきました。

雪まつりイベントに青年部が参加したことで、来場人数、満足度、リピート率といった数字で地域に貢献できたかは分かりません。しかし、地元を思う気持ちと熱気を帯びた行動力が、間違いなくそこにはありました。

かつての幽霊部員が気付き始めます。熱気を持った人間から熱気が伝染することで一人一人に勢いが生まれ、先細りしていくはずの町が活気づく。

地域振興に何の意欲もなかった幽霊部員が熱気を帯びた事で、今、胸を張って活動をしています。これからも全力で、楽しみながら、熱狂的に只見町を盛り上げていきます。

全国大会の出場権を獲得

三瓶叶翔さん「第32回福島県ジュニア空手道選手権大会」優勝

「第32回福島県ジュニア空手道選手権大会」が4月21日に、郡山市で開かれ、中学3年男子中量級で三瓶叶翔さん（只見中3年）が優勝しました。

三瓶さんは、「決勝戦は同じ道場の実力差の無いライバルと当たり、優勝もかかっていたので、気合を入れ直し決勝にのぞみました。優勝することができましたが、全国大会もあるので、より上を目指して頑張りたいです」と次への意気込みを話しました。

今大会の優勝者は、来年開催予定の「カラテドリームフェスティバル2025全国大会」の出場権を獲得し、三瓶さんは出場を予定しているとのことです。

三瓶叶翔さんが所属する日本空手道神居塾只見同好会では会員を募集中です。興味のある方は、次の問合せまでご連絡ください。（問合せ：090-8842-5770 只見同好会責任者：三瓶）



▲叶翔さんは、中学校に進級する頃から只見同好会の指導者も務めており、所属している子どもたちの尊敬の的になっています

県総体ソフトボール南会津郡大会 只見ベアーズ優勝を飾る



▲抜群のチームワークで優勝を飾りました

「第77回福島県総合スポーツ大会ソフトボール競技スポーツ少年団男子の部 南会津大会」は、5月3日、4日に開催され、只見ベアーズが優勝しました。

また、南会津大会で優勝した只見ベアーズは、6月1日、2日に田村市運動公園で開催される県大会へ出場し、ベスト8入りをしました。

只見ベアーズは、只見町、檜枝岐村、旧伊南村の子どもたちが参加する合同チームです。

親子で楽しい時間を過ごす

第1回「かるがもクラブ」開催

今年度第1回目の「かるがもクラブ」が、5月10日に保健福祉センター保健室で開かれ、5組の親子が参加しました。

始めに、親子で曲に合わせて遊んだりしながら、触れ合いを楽しみ、その後、ダンボールのバスに乗ったり、棒をくぐったりして風船を取りにいったりなどをしながら、親子の時間を楽しみました。

次回以降の開催日については、お知らせばんでご案内いたします。たくさんのご参加お待ちしております。



▲民生児童委員の方にも参加していただき、親子でかるがもクラブを楽しみました

只見線の歴史を絵本に 絵本「只見線ものがたり」発行

新潟県魚沼市出身の^{おの がわさん し}小野川三四さんが作成した紙芝居「只見線ものがたり」が絵本になりました。

絵本は両開きとなっていて、右から読むと「越後編」、左から読むと「会津編」となります。

作者である小野川さんは、只見線をテーマに魚沼市側の歴史を基に紙芝居を作成し、只見線沿線で読み聞かせを行っていました。2022年に福島県側の「会津編」が完成し、2年前の町文化祭で披露されました。披露された紙芝居はとても好評でした。

町は、紙芝居の内容を広く周知し只見線への理解を深める目的から、「越後編」、「会津編」を1冊の絵本として発行したい思いを小野川さんに相談したところ、承諾をいただき、この度発行となりました。

絵本は、「子どもたちも含めた沿線の方々に只見線をさらに深く知ってほしい」との小野川さんからの思いもあり、町から只見線沿線の小中学校に寄贈しました。

問合せ：只見町交流推進課（TEL：0241-82-5240）



▲絵本は非売品ですが、町内公民館の図書室にありますので、ぜひご覧ください

大自然を体験しました 手植え体験 開催



▲参加者同士の交流も行われ、楽しい手植えとなりました

只見米ブランド協議会主催の手植え体験が5月11日に深沢集落内の田で行われ、参加者と関係者を合わせて、約40人が参加しました。

参加者は、始めにガジ棒引きを行い、手植えをするための線を引きました。その後、只見米ブランド協議会メンバーの株式会社^{ライズ サブール}RISE SAPEURの目黒大輔さんから、手植えの方法を教わり、田の感触を楽しむなど、和やかな雰囲気で行われました。

当日は気温が高く、参加者は「田んぼがひんやりしていて気持ち良かったです。稲の成長が楽しみです」と話しました。

秋には手刈りイベントを予定しています。

登山シーズン到来 要害山 山開き

只見四名山の1つである要害山が5月12日に山開きとなりました。

当日は、新國副町長から参加者歓迎のあいさつの他、登山バッジの配布などが行われました。

只見四名山と恵みの森、癒しの森の登山者を対象に「自然首都・只見満喫チャレンジキャンペーン」を実施しています。

さらに、新潟県三条市と連携で「八十里越七名山 山&湯巡りキャンペーン」を開催しており、各市町の山の登頂と、対象施設の入浴をセットにしたスタンプラリーを実施しております。

山開き及び各キャンペーンの詳細については、只見町インフォメーションセンター（0241-82-5250）にお問い合わせください。



▲瀧神社横を抜け、要害山山頂を目指す参加者

春植物の花や果実を観察しました「野生植物の花観察会」開催

只見町ブナセンター主催「野生植物の花観察会」が4月27日に余名沢の森で行われ、18人が参加しました。

今春は残雪の少なさと季節外れの高温で、例年より植物の生長が早く、カタクリなどの春植物の花は見頃が過ぎていたものの、金平糖に似たキクザキイチゲの果実など、興味深い結実の様子を観察することができました。スギ・ナラ・ブナそれぞれの林で春植物の生育状況も異なり、その要因についても理解を深めました。



▲野生植物の花観察会に参加した皆さん



▲ブナ林の新緑観察会に参加した皆さん

癒しの森で新緑を楽しみました「ブナ林の新緑観察会」開催

只見町ブナセンター主催「ブナ林の新緑観察会」が4月28日に癒しの森で行われ、14人が参加しました。

晴天に恵まれ、汗ばむほどの陽気の下、「戸板山眺め」までのコースを歩き、オトシブミなどの昆虫や、ゴジュウカラなどの野鳥を観察したり、オオバクロモジの香りを楽しんだりしました。

また、去年は凶作だったブナの実が、今年は沢山の花をつけた個体もあり、秋の実りに期待できそうです。

只見線の車内で急病人が発生したケースを想定

只見線こども会議 救命体験イベント 開催

JR只見線の利活用に向けた取り組みを続けている只見線こども会議（以下こども会議）のメンバーは、只見線の安全・安心な乗車を考える体験イベントを6日に、只見公民館で開催しました。

イベントでは、東京都の日本応急手当普及員協議会（以下協議会）と連携し、只見線の大白川駅から只見駅間を走る列車内で、急病人が発生したと想定し対応を学びました。

参加者は、只見線の駅間の距離が長い所が多い点や、携帯が通じない区間がある点などを踏まえ、どうしたら安全に乗ることができるか真剣に話し合いを行いました。

今回の協議会とこども会議の連携は、去年の「ボランティア・スピリット・アワード」の全国表彰式で、協議会とこども会議のメンバーである角田杏さんが文部科学大臣賞を受賞しており、角田さんから協議会代表理事の芹澤零音さんに共同事業を提案したことがきっかけになったそうです。



▲救命処置を体験する参加者

広報ただみ診療所

退職のご報告

朝日診療所 所長 わかやま 若山 たかし 隆



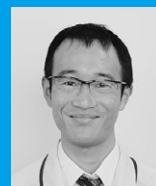
私事で大変恐縮ですが、若山は朝日診療所を2024年7月中旬に退職することをご報告させていただきます。退職の理由は、高齢になった実家の両親の近くに移るためです。私の両親の実家は石川県珠洲市にあり、令和6年1月の能登半島地震でも被災しました。幸いにして両親は無事でしたが、家屋には大きな被害が出ております。また、母は脳出血で障害を持ち、それを介護する父も肺に持病があり、健康面で心配があります。只見から石川県は距離が遠くて、特に冬期間はいざというときに駆けつけることが非常に難しいです。

2011年4月に朝日診療所に赴任してはや13年が経ちました。只見は石川県の次に私が長く過ごした地となり、第二の故郷となりました。只見にきて本当にたくさんのことを経験しました。結婚もしましたし、専門医を取得することもできました。診断・治療が至らず、ご迷惑をかけてしまった方もあり、逆にお役に立てたと思える方もいました。大変なこともありましたが、充実した日々を過ごさせていただきました。只見には本当に感謝しております。残りあと1か月ほどですが、最後まで一生懸命頑張っていきたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊として Vol.114

身近にいる野生動物たち

只見ユネスコエコパーク推進協力隊 こんどう 近藤 ゆうた 友太



自分の普段生活している家や農地の周辺の山林にはどんな動物が棲んでいるのか。目撃情報は耳にしますが、実物を目にする機会はあまりありませんでした。そこで、晩冬に自動撮影カメラを数台購入し、集落の方に話を聞きながら布沢集落内の数か所の山林に設置して観察をしています。

データを回収するとキツネやノウサギ、カモシカなど、身近にいることは分かっているけれどもなかなか目にする機会がない動物が多く撮影されていました。自宅の裏山でもこれらの動物が写っていたことから、夜間・早朝を中心にごく身近な場所で多くの動物が活動していることを再認識しています。

最近ハリス・ヤマネなどの樹上で活動する動物を観察するために、木の比較的高い位置にカメラを設置しています。生活のほとんどを木の上で行い、特にヤマネは夜行性のためなかなか活動している場面をお目にかかることはできません。警戒心を持たれることなく木の幹や枝先を軽やかに移動している姿を見ることができるのも自動撮影カメラの良さの一つです。そして、食事、宿泊、繁殖、移動など生活のほとんどを樹上で行い、行動範囲が比較的狭いことからハリスやヤマネなどの存在はその場所の森林環境を色濃く反映しています。

カメラに動物が写るのは数台設置しても平均すると1日に1回あるかないかくらいの頻度です。集落の方の目撃情報も参考に、カメラの設置と回収を根気良く繰り返し、身近な森林の環境とそこに棲む野生動物について観察・把握をしていきたいと思います。

町民文芸



只見短歌会

令和六年五月詠草

亡き母に似て来しと思ふ丸き背よ我は母より永らへて居り
馬場 八智

老二人ちぐはぐなりし語らひも聞き返すこと多くなりたり
目黒 富子

奥山の残雪眺む五月晴れ夏日もありて衣類迷ひし
関谷登美子

水族館手を振るやうに泳ぎ去るエイに「ばいばい」と息子は応へをり
立花 奏音

朝からの仕事終へると老い猫はしわがれ声で近寄りて来る
新国由紀子

山の木に若芽萌え出づその間より山桜の花緑に映ゆる
渡部ヨリ子

只見俳句会

五月定例会

日高俊平太 指導

初物の苦き香の露の臺
春風に旅心のボブカット
味代子

寝観音望みて日永蕨染む
藤桐のひそり彩どる只見線
一 恵

鶴ヶ城織りなす松と桜かな
桜桜歩き疲れて芝に座す
真理子

葉桜やどこまで続く丘の上
いも植える家族そろって楽しげに
睦 子

旧友と再会の笑み春うらら
春の昼居場所忘れるランチあと
紺 青

土を踏む土やわらかしあたたかく
黒文字の木屑の火勢春囲炉裏
礼

農始む土切る鋤の光かな
清水汲む側に一株花山葵
一 穂

春昼やエンジン全開トラクター
春空やパパも入りて草野球
修 一

万緑を穿いて機関車喘ぐ
炎天下手もち無沙汰の草野球
信

会場は春爛漫のコンサート
春嵐子供は走る頬そめて
都

土に陽の温み鋤き込むコマメかな
かつてこの峠にいくさ蟬しぐれ
恒 夫



今月のお知らせ

お知らせ

医療・介護のお仕事体験事業

南会津保健福祉事務所では、将来を考え始める時期にある中学生を対象に、職業選択のヒントや、医療・介護のお仕事の魅力発見に繋がる体験事業を実施します。

病院や施設で働く方々が、普段どんなお仕事をしているのか、どんなやりがいがあるのか、実際の現場で聞いて、見て、体験できるチャンスです。

医療や介護の分野に興味がある方はもちろん、将来どんなことがしたいのか分からない方まで、まずはどんな仕事なのかを知って、皆さんの将来の選択肢を広げてみませんか。

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課		
町民税務係		☎82-5110
生活安全係		☎82-5100
保健福祉課		
保健係		☎84-7005
福祉係		
成年後見制度利用促進室		☎84-7010
農林建設課		
農林係		☎82-5230
建設係		☎82-5270
薪エネルギー推進室		☎82-5230
交流推進課		
観光係	商工労働係	☎82-5240
移住交流係		
ユネスコエコパーク推進係		
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		☎82-5963
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

税 今月の納期

6月25日までに

納めましょう

- 町県民税(1期)
- 水道使用料(1期)
- 農集排使用料(6月分)

【問合せ先】

南会津保健福祉事務所
総務企画課

☎0241-6310302



▲チラシはこちら



▲申込フォームはこちら

申込詳細についてはチラシをご確認ください。次に掲載のQRコードからチラシをご覧いただけます。
【締切】7月10日(水)まで
※定員になり次第、締め切ります。
ご了承ください。



栗城勉さん(只見)

ブナりん健康ポイント 50ポイント到達 おめでとうございます

栗城勉さんが「ブナりん健康ポイント制度」で50ポイントを達成しました。これからもサロンや健康講座に参加して、健康に長生きしてください。

「ブナりん健康ポイント制度」は、介護予防教室や、健康講座、各種検診などに参加するとポイントをもらうことができ、ポイント数に応じて健康グッズなどと交換できる仕組みとなっています。



広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆只見ユネスコエコパークは登録から10周年を迎えました。

そもそも「なぜユネスコエコパークに只見町は登録されたのか」という話を少しさせていただきます。これは市町村合併の話と直結しています。只見町は昭和34年（1959年）に誕生しました。これを「昭和の合併」と呼んでいます。

その後「平成の合併」問題が全国的に起こりました。只見町も更なる合併をするかしないか大変悩んだ時代です。最終的に只見町は合併をしないで自律（自立）の道を選択することになりました。そのためには大きなことを2つ決めなければなりませんでした。

1つ目は財政の問題です。そこで「行財政改革プログラム」という方針を策定しました。

2つ目は新しい「第六次只見町振興計画」です。これはどのようなまちづくりをしていくのかという基本的な方針や考え方です。

この2つの考え方で進めることを町民の皆様や関係者の皆様のご意見等をお聞きしながら最終的に平成18年（2006年）3月に正式に町議会で議決されました。

振興計画には更に続く言葉があります。

ブナと生きるまち 雪と暮らすまち 「奥会津只見の挑戦 真の地域価値観の創造」の実現に向けてです。

この町の姿勢が、まさにユネスコエコパークの姿勢そのものであるとユネスコエコパーク国内委員会（当時横浜国立大学が事務局）から認められるとともに、豊かな自然環境、動植物、先人の方の山村暮らし等、様々な評価も加わり登録されたという経緯があります。

ユネスコエコパークには3つの目標があります。

①自然環境の保護・保全 ②学術調査研究・人材育成 ③地域の資源を生かした地域活性化・産業振興です。

①は、「只見町の野生動植物を保護する条例」の制定に繋がっています。

②は、小中学校のユネスコスクール加盟やESDの推進で、新聞レジ袋をはじめ、マイクロプラスチックの問題提起や環境活動に繋がっています。そして、只見高校は「小さな学校の大きな可能性への挑戦」を掲げ、選抜甲子園大会の出場を果たしただけでなく、「グローバルリーダー」という大きな視点で物事を捉えることのできる地域のリーダーを育成する教育をしています。具体的なプログラムに沿って一度町を離れても将来帰ってきてほしいという深い愛情と想いが込められた教育です。現在取り組み中の「認定こども園」事業も②人材育成に繋がっています。

③は、今月号で紹介させていただいた「薪ステーション」が地域資源の活用の一例です。

今のまちづくりの基盤は「ユネスコエコパーク登録」と「第六次只見町振興計画」にあります。それが現在の第七次計画に繋がっています。

そして、いよいよ次回の第八次振興計画は只見中学生と只見高校生から提案をいただくことになっています。今から大変楽しみにしています。

先日、内堀県知事から「対策は現在効果は将来」という言葉をお聞きしました。

次の時代に活躍する若い世代の声を大切にしていきたいと改めて思います。

町長スケジュール〈5月分〉

- | | | | |
|-----|--|-----|---|
| 1日 | 只見町赤十字奉仕団総会 | 21日 | 只見町商工会総会 |
| 2日 | 只見町議会全員協議会 | 22日 | (株)只見町観光公社株主総会、只見町青少年健全育成町民会議総会 |
| 8日 | 只見町鳥獣被害対策協議会 | 23日 | 全国治水砂防協会総会、会津総合開発協議会本省庁要望(東京都) |
| 9日 | 会津総合開発協議会国出先機関要望(新潟市) | 25日 | 会津よつば農業協同組合総代会(会津若松市) |
| 10日 | J R東日本東北本部企画総務部長面談(仙台市)、会津赤べこ会懇親会(東京都) | 27日 | (株)季の郷湯ら里株主総会、極上の会津プロジェクト協議会総会(会津若松市) |
| 13日 | (株)季の郷湯ら里取締役会、只見高校振興対策会議役員会、福島県生活環境部長来庁 | 28日 | 只見川電源流域振興協議会監査、南会津地区山岳遭難対策協議会総会、自治体DX推進トップマネジメントセミナー(オンライン)、只見町農業再生協議会総会、映画監督田中圭氏来庁 |
| 14日 | 南会津地方町村会総会、南会津地方林業協会総会、南会津地方緑化推進委員会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会、南会津地方町村連絡会議懇談会(南会津町) | 29日 | 南会津地方環境衛生組合協議会臨時会・同全員協議会(下郷町)、南会津地方広域市町村圏組合協議会臨時会・同全員協議会(南会津町) |
| 15日 | 道路整備促進期成同盟会全国協議会総会、命と暮らしを守る道づくり全国大会(東京都) | 30日 | 只見町薪ステーション開所式、越後・南会津街道観光・地域づくり懇談会 |
| 16日 | 只見町議会5月会議 | 31日 | 只見高校振興対策会議総会 |
| 17日 | 地域医療振興協会訪問、八代亜紀事務所訪問、六角精児事務所訪問(東京都) | | |
| 20日 | ダム・発電関係市町村全国協議会理事会・同定例総会(東京都) | | |

町民の消息

(4月26日～5月25日届出分) 敬称略

■おくやみ申し上げます

鈴木 正義	86歳	只見
横山 キチヨ	103歳	黒谷
船木 キワ	89歳	黒谷
菅家 正一郎	78歳	只見
五十嵐 治平	89歳	福井
渡部 サチ子	82歳	小川
山内 京子	90歳	布沢
横山 スミエ	96歳	只見
渡部 喜満	80歳	只見
渡部 忠	85歳	福井
大塚 孝子	92歳	只見
大竹 弘夫	92歳	熊倉

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和6年5月1日現在

人口	3,598 (-15)
男	1,777 (+1)
女	1,821 (-16)
世帯数	1,541 (+15)
高齢化率	49.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 24 転出 24 出生 0 死亡 15

▽今年も各小学校で運動会が開かれ、賑わいを見せました。朝日小学校では、只見の空が披露されたり、各小学校で趣向を凝らした競技もあり、応援に駆けつけた皆さんも楽しむことができました。力を振り絞って最後まで頑張った児童の皆さん、お疲れ様でした。

▽只見町がユネスコエコパークに登録されてから、間もなく10年が経ちます。私も、改めて、自然や文化と共に生きながら、次世代に何をどのように残していくのかを考えています。(小林)

あとがき

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

朝日公民館 図書紹介

朝日公民館図書室
☎84-2111

おすすめ新着図書

★定食屋「雑」



【著】原田 ひ香 (双葉社)

真面目でしっかり者の沙也加は、丁寧な暮らしで生活を彩り、健康的な手料理で夫を支えていたある日、突然夫から離婚を切り出される。理由を隠す夫の浮気を疑い、頻繁に夫が立ち寄る定食屋「雑」を偵察することに。大雑把で濃い味付けの料理を出すその店には、愛想のない接客で一人店を切り盛りする老女「ぞうさん」がいた。沙也加はひょんなことから、この定食屋「雑」でアルバイトをすることになり――。個性も年齢も立場も違う女たちが、それぞれの明日を切り開く勇気に胸を打たれる。ベストセラー作家が贈る心温まる定食屋物語。

★成瀬は信じた道をいく



【監修】宮島 未奈 (新潮社)

唯一無二の主人公、再び。その前途、誰にも予測不能！成瀬の人生は、今日も誰かと交差する。「ゼゼカラ」ファンの小学生、娘の受験を見守る父、近所のクレーマー主婦、観光大使になるべく育った女子大生……。個性豊かな面々が新たに成瀬あかり史に名を刻む中、幼馴染の島崎が故郷へ帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており……!? 読み応えますますパワーアップの全5篇！

○朝日公民館ではリクエストを随時受付しています。
読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。



(写真・文 太田祥作)

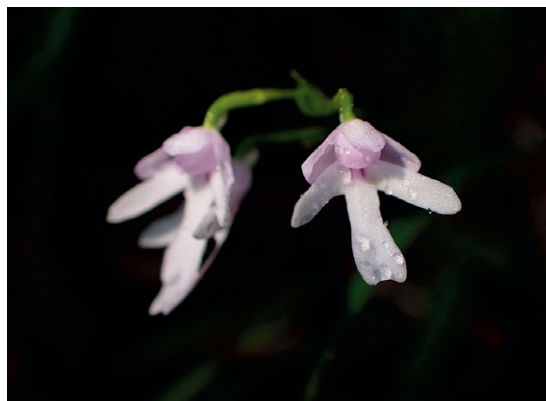
コアニチドリ

(学名: *Hemipilia kinoshitae*)

【ラン科】



▲ 湿った岩場に着生する



▲ 花は1 cmほど。
茎の先に2～5個まとまって咲く

6月頃、湿った岸壁に咲く可憐なランの一種です。花は白色や薄紫色で、下に伸びる花弁(唇弁)は3つに裂け、その中央に紫紅色の斑紋が一對あります。茎は1.5 cm程度で、広線形の葉が1～2枚、茎を抱くようにつきます。全体的に小ぶりで華奢なランです。

コアニチドリの「コアニ」は、秋田県小阿仁村(かみこあにむら)で発見されたことに由来します。また、ランには花の形を千鳥が飛ぶ姿に似ているとして名付けられた種が多くあり、本種の「チドリ」もそれに類するものでしょう。

コアニチドリは日本海側の多雪地という特徴的な分布を示し、北海道と本州の東北・北陸地方から見つかっています。福島県では会津と県南から記録されているようですが、稀であり、さらに全国的にも希少なため、環境省と福島県のレッドリストでともに絶滅危惧Ⅱ類に選定されています。

そんな珍しいコアニチドリですが、只見町では複数の産地が確認されており、溪谷沿いの湿った岩盤に着生する姿を見ることができます。場所によっては数十個体が群生しています。多雪地を好むコアニチドリにとって、雪食地形による岩場に富んだ只見の山は生息に適しているようで、雪国・只見を象徴するランと言っても過言ではないかもしれません。

只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。詳細は只見町ブナセンター（電話 0241-72-8355）までお問い合わせください。

企画展「誕生から10年。只見ユネスコエコパークの
ここまでを振り返り、これからを考える」

会期：2024年4月27日(土)～9月1日(日)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー